

## 日本病院前救急救命学会 平成27年度事業報告

平成 26 年 4 月に発会した日本病院前救急救命学会は、2 年目を迎え平成 27 年度の事業計画をほぼ予定どおり執行することができた。

具体的な事業として、平成 27 年 6 月 6 日（土）に、富山県富山市で開催された第 18 回日本臨床救急医学会総会・学術集会の会長である富山大学の奥寺教授の協力を得て、本学会の第 1 回学術集会をジョイントセッションとして開催出来たことは、その後の活動に大きな弾みをつけることとなった。この学術集会では、厚生労働省の酒井専門官並びに総務省消防庁の寺谷専門官に講演をいただき、今後の活動を勇気づけられたことも事実である。

また、平成 27 年 11 月 28 日に和歌山県で行った第 3 回日本病院前救急救命学会ワークショップでは、JPTEC 近畿代表の加藤先生、副代表の林先生、和歌山市消防局の方々の多大な協力を得ながら、JPTEC 近畿ブラッシュアップセミナーとのジョイント企画で、一般社団法人日本蘇生協議会の野々木代表理事に「心肺蘇生の新ガイドライン 2015 について」と題して、また京都橘大学の北小屋先生に「新たな消防通信指令課員教育の確立について」と題して御講演をいただいたことで、多くの参加者を得ることができ、本学会の活動を広報することができたといえる。

これらの事業成果からか、平成 26 年度末に 70 人弱であった会員数が、平成 27 年度末には 100 人の大台を超え、内閣府の学術会議の認定要件の一つを満たしたために、もう一つの要件である学術雑誌の発刊を目的に、平成 28 年度の事業計画に学術雑誌の編集準備を行うことを盛り込んだのも事実である。

一方、平成 27 年度事業計画では、当学会の信用向上と長期的な安定を目的に、事務局業務を平成 27 年度中にヘルス出版へ委託し、平成 30 年度までに当学会を法人化する具体的な準備作業に着手することとしていたが、法人化の目標年度を平成 29 年度に 1 年前倒しにすることから、ヘルス出版への事務局業務を平成 28 年度事業に繰り越すこととしたことについては、会員の理解を求めたい。

振り返れば、平成 27 年度も本会の趣旨に賛同していただいた医師や看護師、大学教員の方々が賛助会員及び協賛会員として入会を賜り、本学会の活動に多くの協力をいただいた。会員諸氏のご理解とご協力により学会事業を円滑に執行できたことに深謝の意を表する。

また、各種事業の推進に当たっては、幹事と監事を構成員とする役員会と評議員会の合同 Web 会議及びメーリングリストを利用した協議を行ったことで、役員会という執行部だけで業務を企画・実行せず、広く評議員にも積極的かつ建設的な意見提出を求めて意思決定に参加いただいた結果だと感謝している。

日本病院前救急救命学会会則の第 22 条に基づき、平成 26 年度の事業を下記のとおり報告する。

## 1 日本病院前救急救命学会第一回学術集会の開催

平成 27 年 6 月 6 日（土）に、富山県で開催された第 18 回日本臨床救急医学会総会・学術集会のジョイントセッションとして本学会の第 1 回学術集会を次のとおり開催した。

- (1) 日 時：平成 27 年 6 月 6 日（土）14 時 00 分～17 時 00 分
- (2) 場 所：富山県民会館 7 階 701
- (3) テーマ：「病院前救急救命学の確立に何を期待するか？」
- (4) 参加者：81 人
- (5) 内 容

ア 日本病院前救急救命学会会長講演（テーマ：「垣根を取り払う組織づくり ～夢から志へ～」）

参加者に本学会の趣旨や目的について説明した。その中で、これまでの救急救命士の研究や教育を行うグループは地域や職域が限定されていたが、本学会では公的組織や民間組織などの職域や地域の制限といった垣根の無い組織であることを強調した。

また、本学会は救急救命士の手当の改善や、救急救命士法の改正を行うことを目的とはしていないこと、そのような圧力団体ではなく、救急救命士の専門資格としての自律、学問の構築、自らの活動根拠の構築、これらを通しての社会貢献を行うことが目的であることを伝えた。

イ 厚生労働省専門官講演

- ① テーマ：「救急救命士に期待すること」
- ② 講師：酒井智彦（厚生労働省医政局地域医療計画課救急・周産期医療等対策室病院前医療対策専門官）

ウ 総務省消防庁専門官講演

- ① テーマ：「救急救命士に期待すること」
- ② 講師：寺谷俊康（消防庁救急企画室救急専門官）

エ 一般演題

- ① 演題 1：「空白の 8 分間を埋めるためバイスタンダーを支援するスマートフォン用救急支援アプリ導入の試み」  
（和歌山県総務部危機管理局危機管理・消防課 脇田佳典）
- ② 演題 2：「自動車メーカーの救命士として学会に期待すること」  
（株式会社日産クリエイティブサービス PG・車両管理事業本部 浦辺隆啓）
- ③ 演題 3：「高齢者救急の現状と課題～傷病者の意思を尊重するためには～」  
（倉敷芸術科学大学 健康科学科 救急救命士コース 荒木徳孝）
- ④ 演題 4：「救急救命士の学術的活動とは？悔いが残る活動を改善するために取り組んだ経験から」  
（日本体育大学保健医療学部 鈴木健介）

オ 今後の展望について

平成 27 年度の日本病院前救急救命学会の事業計画の説明を本学会会長が行い、今後は法人化を目指すとともに、将来的に日本学術会議の認定のための申請準備を行うことを説明した。

また、日本病院前救急救命学会は救急救命士として、1) 専門資格の自覚を持ち自律すること、2) 活動根拠の構築をすること、3) 資格を活かした「社会貢献」をすることを目標・目的に掲げ、そのために視野は広く、思考は深く、展望は遠く、活動をしていくと述

べ、

平成 27 年度日本病院前救急救命学会第一回学術集会を閉会した。

## 2 第 3 回 日本病院前救急救命学会ワークショップ in 和歌山の開催

- (1) 日時：平成 27 年 11 月 28 日（土）13 時 00 分から 18 時 10 分まで
- (2) 場所：和歌山県立医科大学附属病院 4 階 臨床講堂  
(〒641-0012 和歌山市紀三井寺 811 番地の 1)
- (3) テーマ：「病院前救急医療の新たな風」
- (4) 参加者：116 人
- (5) 内 容
  - ア 講演：「心肺蘇生の新ガイドライン 2015 について」  
(一般社団法人日本蘇生協議会 代表理事 野々木 宏先生)
  - イ 講演：「新たな消防通信指令課員教育の確立について」  
(京都橘大学 北小屋 裕先生)
  - ウ JPTEC 近畿ブラッシュアップセミナー：「JPTEC がトブック改訂と新コース開発への取り組み」  
(JPTEC 近畿代表：加藤正哉先生、副代表：林靖之先生)

## 3 関係団体との面談

株式会社ヘルス出版と事務委託契約及び法人化についての協議を行った。

- (1) 日時：平成 28 年 3 月 15 日（火）11 時 30 分から 13 時 00 分まで
- (2) 場所：株式会社へるす出版 3 階会議室  
(〒164-0001 東京都中野区中野 2 丁目 2 番 3 号)
- (3) 参加者：株式会社ヘルス出版社長：佐藤 枢  
日本病院前救急救命学会会長：坂田武、副会長：張替喜世一

## 4 日本病院前救急救命学会役員会

- (1) 日時：平成 28 年 3 月 15 日（火）14 時 00 分から 16 時 30 分まで
- (2) 場所：株式会社へるす出版 3 階会議室  
(〒164-0001 東京都中野区中野 2 丁目 2 番 3 号)
- (3) 出席者：幹事 11 人中 9 人出席  
オブザーバー同席：株式会社へるす出版 佐藤 枢社長
- (4) 審議事項
  - ア 学会事務局の委託について
  - イ 会員数報告
  - ウ 平成 27 年度の予算執行状況にかかる会計報告
  - エ 前回幹事会からこれまでの幹事会決定事項の確認

(平成 27 年 12 月～平成 28 年 2 月)

- オ 平成 28 年度事業計画 (案) について
- カ 第 2 回日本病院前救急救命学会学術集会 (平成 28 年 5 月 14 日) 開催について
- キ 平成 28 年度日本病院前救急救命学会総会 (平成 28 年 5 月 14 日) の開催について
- ク 救急救命士国家試験対策本について
- ケ 学会法人化について
- コ 学術雑誌と日本学術会議の登録について
- サ 平成 28 年 12 月上旬の G2015 に関するシンポジウム開催について

## 5 役員会の審議 (Web 審議を含む) に基づき、会則・施行細則の改定、規定等が制定された事項

- (1) 一般社団法人 JPTEC 協議会への理事の推薦  
一般社団法人 JPTEC 協議会から書面で、本学会へ理事の推薦依頼があったことから、役員及び評議員で審議の結果、本学会会長を理事として推薦することを決議した。  
(任期については、平成 28 年 5 月の JPTEC 協議会社員総会決議後から 2 年間。)
- (2) 会議運営規定を制定し、平成 27 年 10 月 1 日から施行開始するとともに、運用要領を定めた。
- (3) 日本病院前救急救命学会会則施行細則の改正  
協賛会員を個人と法人及び各種団体に分け、個人の会費を 5,000 円、法人及び各種団体の会費を 50,000 円とし、平成 27 年 11 月 1 日から施行した。
- (4) 各種委員会の立ち上げについて  
委員会設置基準を制定し、平成 27 年 10 月 1 日から施行した。  
なお、具体的な委員会については、協議済みの 13 の委員会を基本とし、必要の都度、目的に応じた委員会を設置することとした。
- (5) 日本病院前救急救命学会会則施行細則第 17 条に基づき、会長が新副会長に脇田幹事を指名し、役員会の承認を得た。

## 6 平成 27 年度 Web 会議の開催状況

- (1) 第 1 回 Web 会議 (平成 27 年 7 月 9 日 (木) 開催)  
審議事項は、次のとおり。
  - ア 平成 27 年 6 月 6 日に富山で開催した学術集会の振り返りについて
  - イ 平成 26 年度事務事業報告
  - ウ 平成 27 年度予算案
  - エ 平成 27 年度事務事業計画に基づく各種委員会の設置について
  - オ 平成 27 年度に行う症例検討会・教育講演の開催回数について
  - カ 和歌山で行う症例検討会・教育講演について
  - キ 第三回「道東救急医療研究会」への協力について
- (2) 第 2 回 Web 会議 (平成 27 年 8 月 12 日 (木) 開催)  
審議事項は、次のとおり。
  - ア 第 3 回日本病院前救急救命学会ワークショップ in 和歌山について

- イ 平成 27 年度事務事業計画に基づく各種委員会の設置について（進捗状況と今後の行程）
- ウ 平成 27 年度に行う症例検討会・教育講演の開催回数について
- エ Web 会議の実施要領について

(3) 第 3 回 Web 会議（平成 27 年 8 月 26 日（水）開催）

審議事項は、次のとおり。

- ア 会議運営規定と実際の会議方法および決議方法について
- イ 承認を必要とする重要事項について
  - （監事の追加及び協賛会員を個人と法人及び団体に分け会費を変更案について）
- ウ 11 月 28 日に和歌山で開催予定の第 3 回ワークショップの調整状況報告
- エ 第 4 回の症例検討会（ワークショップ）の開催の是非について
- オ 各種委員会の立ち上げについて
- カ その他議題として、以下の提案について協議した
  - ① 次回救急隊員シンポジウムにあわせての当学会イベント開催について
  - ② 地域で行う勉強会等を当学会が後援することについて
  - ③ 学術団体として論文提出ができる体制構築について

(4) 第 4 回 Web 会議（平成 27 年 9 月 8 日（火）開催）

審議事項は、次のとおり。

- ア 会議運営規定及び運用要領について
- イ 承認を必要とする重要事項について
  - （監事の追加及び協賛会員を個人と法人及び団体に分け会費を変更案について）
- ウ 11 月 28 日に和歌山で開催予定の第 3 回ワークショップ各種調整状況について
- エ 第 4 回の症例検討会（ワークショップ）の開催の是非について
- オ 各種委員会の立ち上げについて（委員会設置基準（案）検討）
- カ 救急隊員シンポジウムでのイベント開催について
- キ 地域勉強会等の学会後援について
- ク 学術委員会を設置について

(5) 第 5 回 Web 会議（平成 27 年 10 月 4 日（日）開催）

審議事項は、次のとおり。

- ア 検討課題に関する忘備録一覧の作成について
- イ 学術論文の作成にかかる準備について
- ウ 日本学術振興会への申請について（確認）
- エ 学会の事業進行状況と計画表の作成について
- オ 海外への救急医療に関する視察研修について
- カ 出版社からの書籍発刊に関する依頼について
- キ 11 月 28 日に和歌山で開催予定の第 3 回ワークショップ各種調整状況について

(6) 第 6 回 Web 会議（平成 27 年 10 月 7 日（水）開催）

審議事項は、次のとおり。

- ア 日本病院前救急救命学会会則施行細則の改正について（第 5 章会費、第 20 条）
- イ 海外への救急医療に関する視察研修について

- ウ 検討課題に関する忘備録一覧の作成について
- エ 11月28日に和歌山で開催予定の第3回ワークショップ各種調整状況について
- (7) 第7回 Web 会議（平成27年10月27日（火）開催）
  - 審議事項は、次のとおり。
  - ア 11月28日に和歌山で開催予定の第3回ワークショップ各種調整状況について
  - イ 日本病院前救急救命学会会則施行細則の改正について（第5章会費、第20条）
  - ウ 今後の事業計画について
- (8) 第8回 Web 会議（平成27年11月18日（水）開催）
  - 審議事項は、次のとおり。
  - ア 11月28日に和歌山で開催予定の第3回ワークショップ各種調整状況について（各種担当等の最終確認）
  - イ 来年の日本臨床救急医学会と併設での学術集会の開催について
- (9) 第9回 Web 会議（平成27年12月19日（土）開催）
  - 審議事項は、次のとおり。
  - ア 年明けの Web 会議開催の調整について
  - イ 会長による新たな副会長1名の指名について
  - ウ 第2回学術集会準備委員会の委員長、山内幹事への準備依頼について
- (10) 第10回 Web 会議（平成28年1月20日（水）開催）
  - 審議事項は、次のとおり。
  - ア 「第4回道東救急医療研究会」への当会の後援について
  - イ 副会長1名の欠員について新副会長の指名、承認について
  - ウ 学会監修出版物編集の現状について
  - エ 「第3回日本病院前救急救命学会ワークショップ in 和歌山」の振り返り
  - オ 次期学術集会・総会の開催について
    - 第19回日本臨床救急医学会学術集会会期中にジョイント開催
    - 平成27年5月12日（木）～14日（土）
  - カ 役員会（幹事・監事）を3月に開催することについて
  - キ 講師謝礼規程の整備について
  - ク ヘルス出版への事務局委託について
  - ケ 平成28年度業務計画について

以上、平成28年4月1日作成、日本病院前救急救命学会会長 坂田 武